
INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2009年第40週
(9月28日～10月4日)

* 2009年10月7日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>

平成21(2009)年10月8日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話：03-3363-3213(直通)

FAX：03-5332-7365

e-mail：idsc@tokyo-eiken.go.jp

全数把握対象疾患 報告数 2009年40週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)				全国(診断週)		
		37週	38週	39週	40週	年累計	40週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	結核	86	79	30	46	3086	291	19941
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 *1 鳥インフルエンザ (H5N1)							
三類	コレラ					2		8
	細菌性赤痢		3	1	1	35	4	131
	腸管出血性大腸菌感染症	21	18	7	5	261	63	3011
	腸チフス					10		22
	バラチフス			1	1	9	1	17
四類	E型肝炎					6		38
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎	1	1		1	17	2	98
	エキノкокクス症					1		17
	黄熱							
	オウム病					1		16
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサナル森林病							
	Q熱					1		2
	狂犬病							
	コクシジオイデス症					1		2
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	つつが虫病					2	2	111
	デング熱	2	3		1	23	1	59
	東部ウマ脳炎							
	鳥インフルエンザ (H5N1を除く)							
	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱						2	65
	日本脳炎							
	発しんチフス							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							1
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	ボツリヌス症							
	マラリア	1		1	1	21		48
野兔病								
ライム病					1		5	
リッサウイルス感染症								
リフトバレー熱								
類鼻疽								
レジオネラ症		2	1		43	3	511	
レプトスピラ症							12	
ロッキー山紅斑熱								

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		37週	38週	39週	40週	年累計	40週	年累計
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	4	2	1	5	109	11	605
	ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)		1			28	4	171
	急性脳炎 *2	2			2	21	9	203
	クリプトスポリジウム症					1		12
	クロイツフェルト・ヤコブ病					12	2	99
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症					9		87
	後天性免疫不全症候群	11	8	5	5	371	13	1105
	ジアルジア症			1		19		59
	髄膜炎菌性髄膜炎					1		9
	先天性風しん症候群							1
	梅毒		5	2	3	155	5	541
	破傷風				1	6	3	92
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症				1	11	2	76
	風しん	1		1	1	15	1	133
麻しん	1	6		4	98	11	656	
新型※	新型インフルエンザ ※2 ※3	—	—	—	—	1187	—	5038
2009/10/7計								

*1 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

*2 ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

※新型インフルエンザ等感染症 ※2 2009年4月28日に指定された。2009年4月28日から7月23日の期間は全数届出。

2009年7月24日から8月24日の期間は集団発生事例に関連した届出。

※3全国集計は7月24日6:00現在の国内発生累計値(検査対象者を含まない。)

(全数把握対象疾患のコメント)

〈二類感染症〉

結核 46件 肺結核33件、その他の結核4件、肺結核及びその他の結核1件、無症状病原体保有者5件、疑似症患者3件で、推定感染地は全て国内、年齢は10歳代1件、20歳代4件、30歳代5件、40歳代4件、50歳代9件、60歳代4件、70歳代11件、80歳代6件、90歳代2件であった。

〈三類感染症〉

細菌性赤痢 1件 患者で、菌種はソネネである。推定感染地はペルー、推定感染経路は飲食物による経口感染であった。

腸管出血性大腸菌感染症 5件 患者4件、無症状病原体保有者1件。血清型・毒素型はO157(VT1VT2)3件、O157(VT2)1件、O157(毒素型不明)1件で、年齢は10歳代2件、20歳代1件、30歳代1件、50歳代1件であった。

パラチフス 1件 患者で、推定感染地はインド(デリー)、推定感染経路は飲食物による経口感染であった。

〈四類感染症〉

A型肝炎 1件 推定感染地は韓国で、感染経路はその他(不明)であった。

デング熱 1件 推定感染地はスリランカである。

マラリア 1件 熱帯熱マラリアで、推定感染地はベナンであった。

〈五類感染症〉

アメーバ赤痢 5件 腸管アメーバ症3件、腸管外アメーバ症1件、腸管及び腸管外アメーバ症1件で、推定感染地はすべて国内、感染経路は飲食物による経口感染1件、性的接触(異性間)2件、その他(不明)2件であった。

急性脳炎 2件 病原体はヒトヘルペスウイルス6型1件、不明1件で、年齢は5歳未満2件であった。

後天性免疫不全症候群 5件 無症候キャリア2件、AIDS3件で、無症候キャリアの年齢は30歳代2件、AIDS患者の年齢は20歳代1件、40歳代1件、50歳代1件である。推定感染地は国内4件、不明1件、推定感染経路は性的接触(同性間)4件、不明1件であった。

梅毒 3件 早期顕症梅毒Ⅱ期2件、無症候1件で、全て推定感染地は国内、推定感染経路は性的接触(同性間1件、異性間1件、不明1件)であった。

破傷風 1件 患者は60歳代で、創傷からの感染が疑われている。

バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1件 耐性遺伝子はVanCで、発熱を呈し、血液から菌が分離・同定されている。

風しん 1件 検査診断例で、年齢は20歳代、風しん含有ワクチン接種歴は無しであった。

麻しん 4件 麻しん(検査診断例)1件、麻しん(臨床診断例)3件で、年齢は5歳未満1件、10歳代2件、30歳代1件。麻しん含有ワクチン接種歴は無し2件、1回2件であった。

定点把握対象疾患 報告数 2009年40週

定点種別	対象疾患	2009年					報告 医療 機関数	定点 医療 機関数
		37週	38週	39週	40週 (定点当たり)			
小児科	RSウイルス感染症	15	27	7	13	0.09	149	150
	咽頭結膜熱	8	6	6	4	0.03		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	82	97	51	87	0.58		
	感染性胃腸炎	469	385	232	327	2.19		
	水痘	35	53	45	60	0.40		
	手足口病	171	123	75	58	0.39		
	伝染性紅斑	21	21	7	11	0.07		
	突発性発しん	97	93	62	104	0.70		
	百日咳	4	5	4	7	0.05		
	ヘルパンギーナ	143	115	61	39	0.26		
	流行性耳下腺炎	91	88	93	107	0.72		
	不明発しん症 (注1)	13	16	10	8	0.05		
MCLS(川崎病) (注1)	0	2	2	1	0.01			
インフルエンザ	インフルエンザ (注2)	1,694	2,837	1,896	2,773	9.60	289	290
眼科	急性出血性結膜炎	1	4	1	2	0.05	39	39
	流行性角結膜炎	18	15	10	15	0.38		
基幹	細菌性髄膜炎 (注3)	0	0	1	1	0.04	24	24
	無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0.00		
	マイコプラズマ肺炎	9	7	3	7	0.29		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	1	2	1	0	0.00		
2009/10/7集計								

(注1) 不明発しん症、MCLS(川崎病)は東京都が独自に指定する疾患である。

(注2) 鳥インフルエンザ感染症を除く。

(注3) 髄膜炎菌性髄膜炎を除く。

風しん、麻しん、成人麻しんは2008年第1週より全数把握対象疾患に変更。

(定点把握対象疾患のコメント)

- ・流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は微増した。今年に入ってから過去5年平均と比較して高いレベルで推移している。
- ・インフルエンザの定点当たり報告数は増加した。過去5年平均の同時期と比較して依然として多く、引き続き注意が必要である。

(定点医療機関からのコメント)

* インフルエンザに関するコメントは13～14頁にまとめて記載しました。

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2009年40週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
～5か月	3			2				1	1	
～11か月	5			39		5	1	48		2
1歳	3			40	11	21	1	47	1	20
2歳	2		4	22	18	7		5		5
3歳		1	4	15	10	11		3		3
4歳		1	15	26	4	5	2			3
5歳		1	20	17	5	3	5			3
6歳			8	20	3	2	2			
7歳			12	19	5					1
8歳			8	12	2	1				
9歳			2	22		1				
10～14歳		1	6	32	2	1			1	1
15～19歳			4	14						1
20～29歳			4	47		1			4	
30～39歳										
40～49歳										
50～59歳										
60～69歳										
70～79歳										
80歳以上										
合計	13	4	87	327	60	58	11	104	7	39
先週比	6	-2	36	95	15	-17	4	42	3	-22

注：小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性耳下腺炎	不明発しん症	MCLS(川崎病)	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
～5か月		1				
～11か月				10		
1歳	5	2		19		
2歳	9	2		31		
3歳	14	2		53		
4歳	19			89		
5歳	21			86		
6歳	14			103		
7歳	10	1		130		
8歳	6			166		
9歳	2			153	1	1
10～14歳	3		1	1094		
15～19歳	1			496		
20～29歳	3			131		2
30～39歳				88	1	5
40～49歳				89		2
50～59歳				21		2
60～69歳				6		3
70～79歳				8		
80歳以上						
合計	107	8	1	2773	2	15
先週比	14	-2	-1	877	1	5

注：小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

全数把握対象疾患 (風しん、麻しん)報告数

【年齢階級別】 2009年40週

	風しん	麻しん
0歳		1
1歳		
2歳		
3歳		
4歳		
5歳		
6歳		
7歳		
8歳		
9歳		
10～14歳		1
15～19歳		1
20～29歳	1	
30～39歳		1
40～49歳		
50～59歳		
60～69歳		
70～79歳		
80歳以上		
合計	1	4

定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2009年40週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
千代田								1		
中央区				6	1			2		
みなと	3	1	1	15	1	3		3		3
新宿区			1	10	1			1		
文京				2				2		2
台東			1	6	2			1		
墨田区			2			8		2		
江東区			5	18	2	5		5		3
品川区	1	1	3	15		2		4		2
目黒区			1	2	1	1	1	1		
大田区			7	30	6	4	1	13	3	4
世田谷			2	21		3		2		
渋谷区				7				7	2	
中野区			2	23	3	1		4		5
杉並			5	25		1		4		
池袋				4		2				
北区			1	2	3	3		2		
荒川区			1		4			3		
板橋区			1	13		1		3		
練馬区	1		1	2	1	1		3		1
足立				17	3	3	1	4		
葛飾区			2	3	7	4		2		5
江戸川	1		8	13	1	3	3	5		4
八王子市	1		14	25	3	2	1	6		2
西多摩		1		9	3			1	1	1
南多摩	3		5	12	3	1				
町田			14	22	4	2	3	6		7
多摩立川				4	2			1		
多摩府中	2			2	4	2		6		
多摩小平	1	1	10	19	5	6	1	10	1	
島しょ										
東京都合計	13	4	87	327	60	58	11	104	7	39

全数把握対象疾患
(風しん、麻しん)報告数

【保健所別】 2009年40週

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)	インフルエ ンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田				38		
中央区	1			34		
みなと	4			51		
新宿区	3	1		70		4
文京	1			61		1
台東				23		
墨田区		1		35		
江東区	1			101		
品川区	3	1		58		
目黒区				24		
大田区	3			160		
世田谷			1	186		
渋谷区	1			47		
中野区	4			94		
杉並	2			134		
池袋				58		
北区	3			79		1
荒川区				21		1
板橋区	7			56		
練馬区	2			91		2
足立	5	1		95	1	1
葛飾区	5	1		112	1	
江戸川	2			190		
八王子市	11			99		1
西多摩	9			72		1
南多摩				126		1
町田	20	2		150		
多摩立川				92		
多摩府中	11			204		
多摩小平	9	1		212		2
島しょ						

東京都合計	107	8	1	2,773	2	15
-------	-----	---	---	-------	---	----

	風しん	麻しん
千代田		
中央区		
みなと		
新宿区	1	
文京		
台東		
墨田区		
江東区		
品川区		
目黒区		1
大田区		1
世田谷		
渋谷区		
中野区		
杉並		
池袋		
北区		
荒川区		
板橋区		
練馬区		
足立		
葛飾区		
江戸川		
八王子市		
西多摩		
南多摩		1
町田		
多摩立川		1
多摩府中		
多摩小平		
島しょ		

東京都合計	1	4
-------	---	---

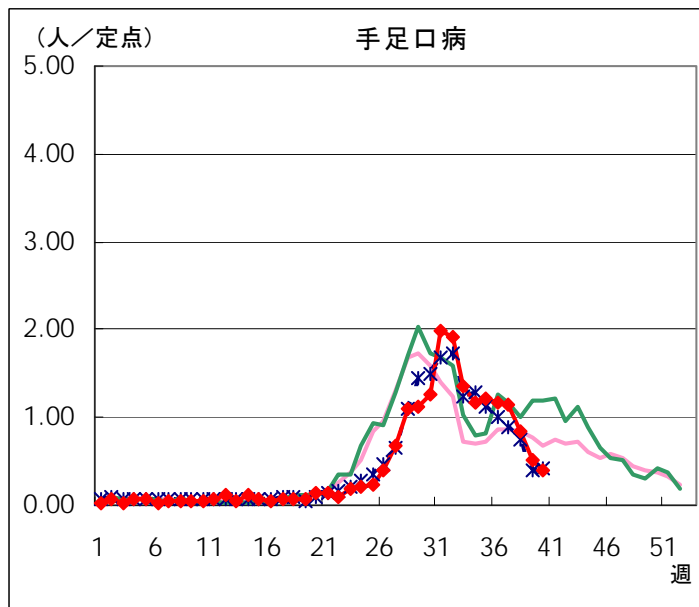
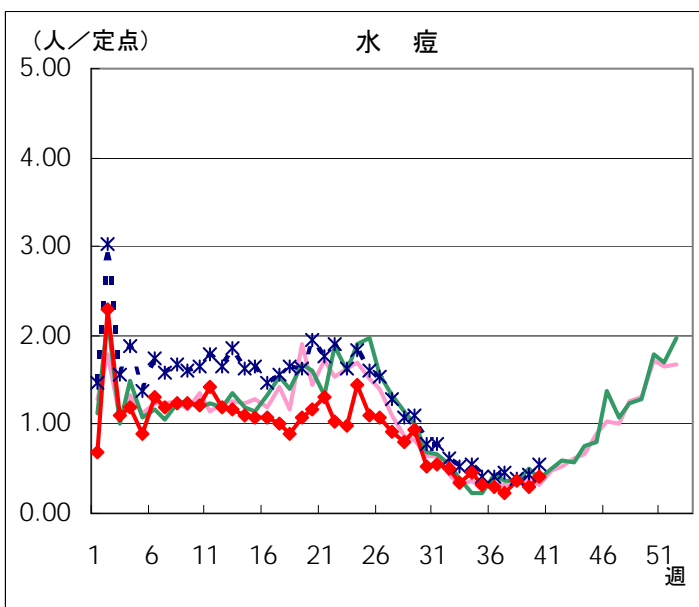
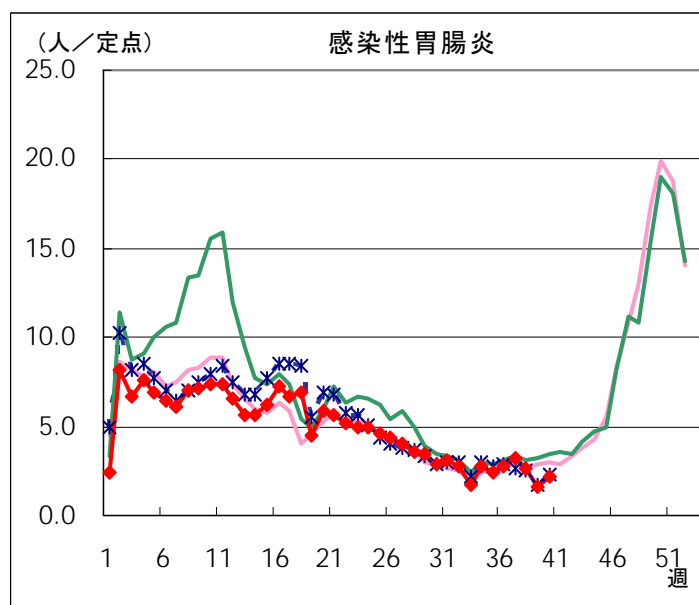
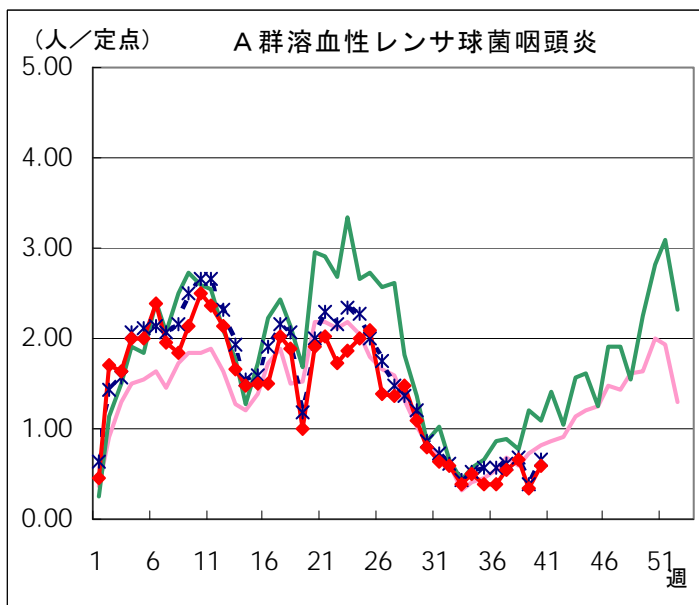
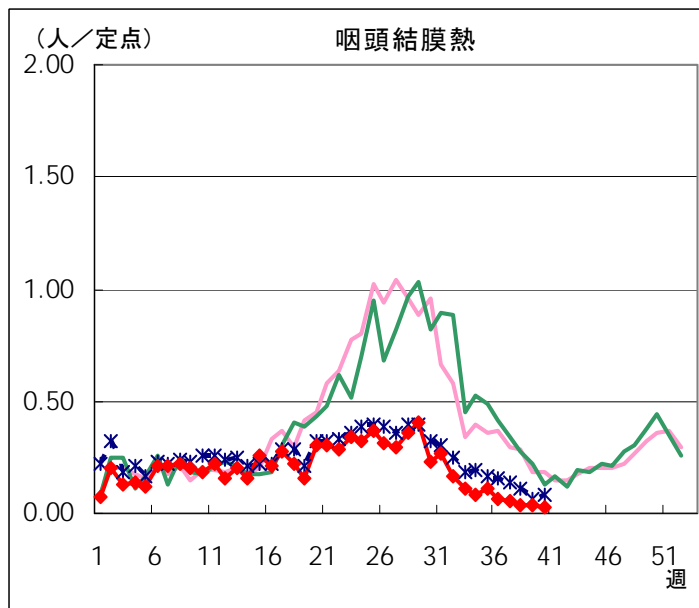
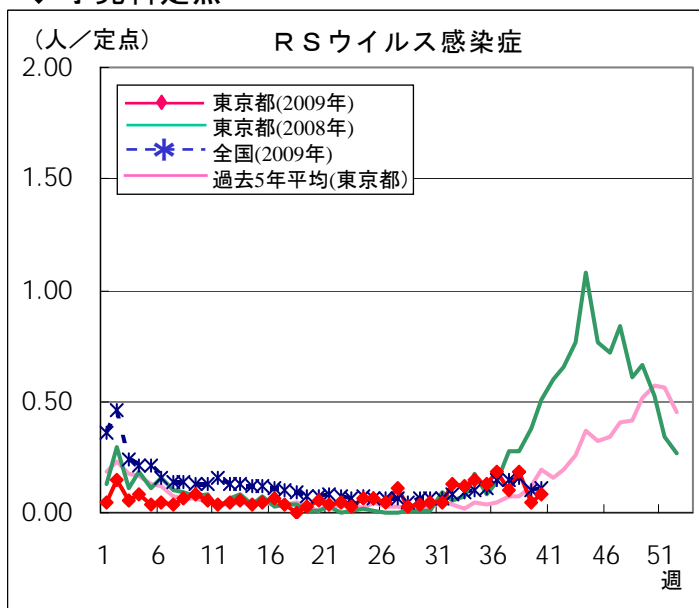
定点把握対象疾患 報告数【保健所別・定点当たり】 2009年40週

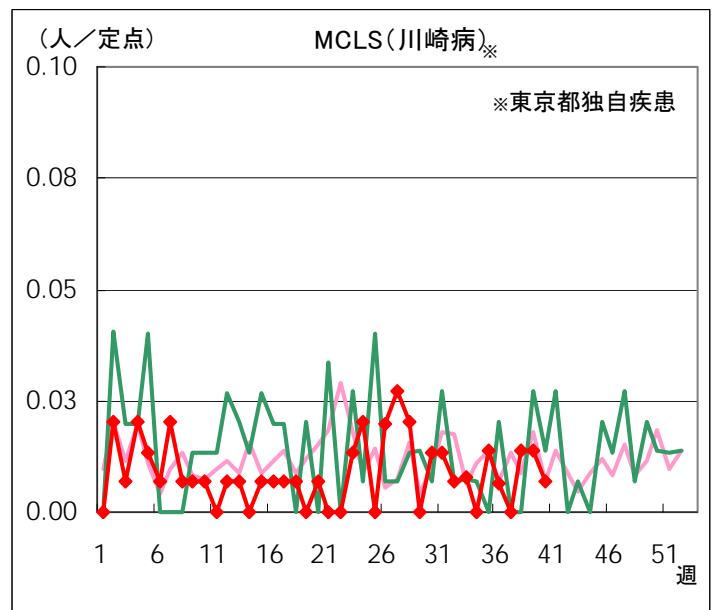
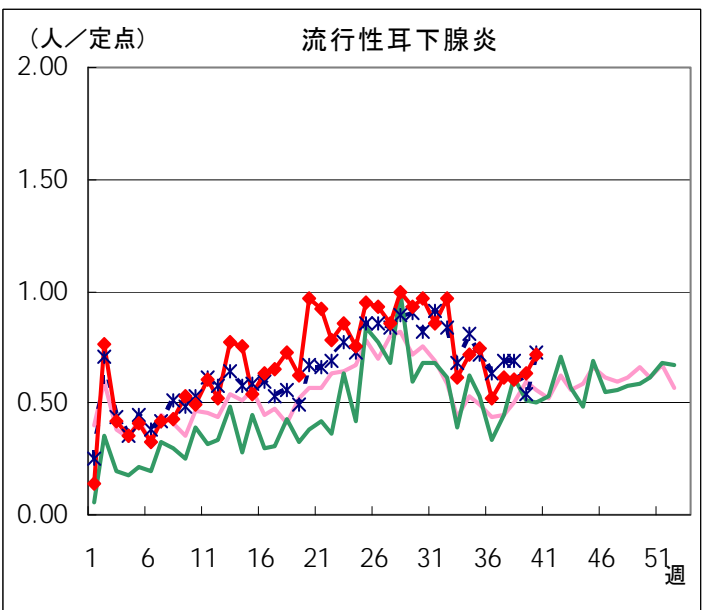
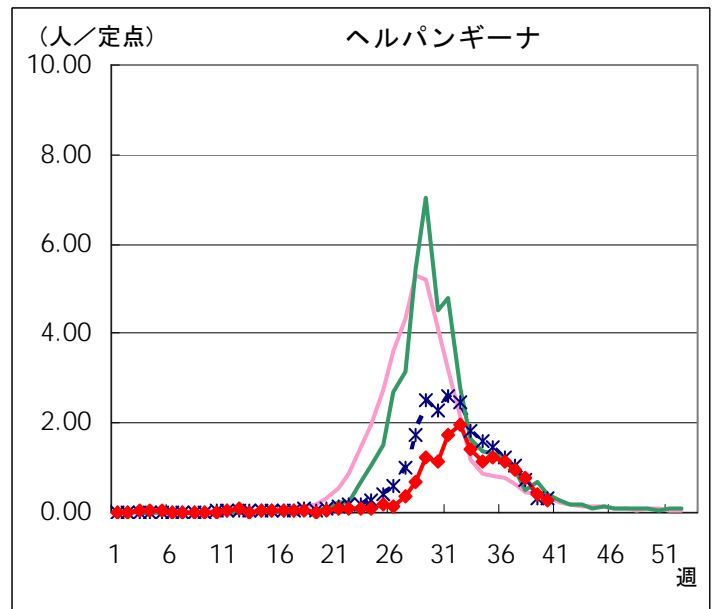
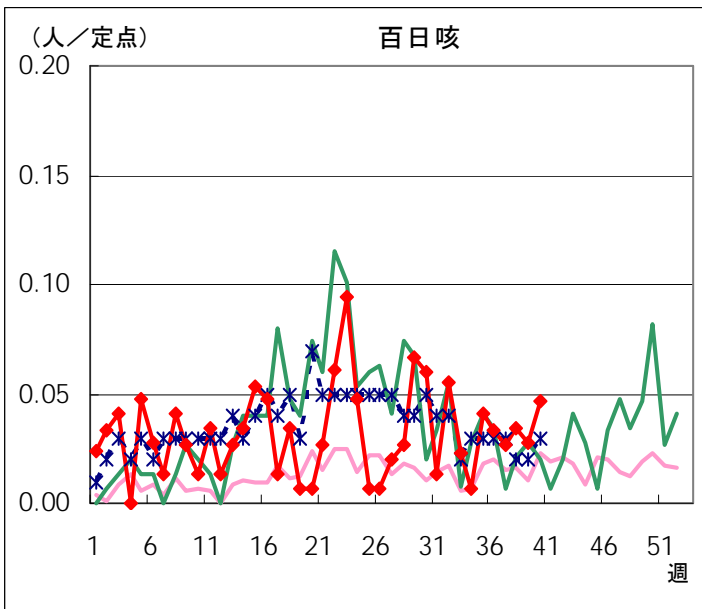
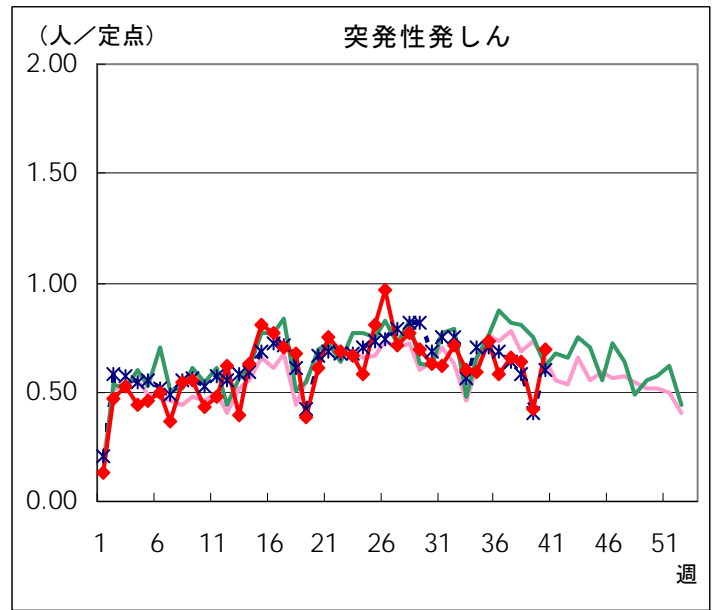
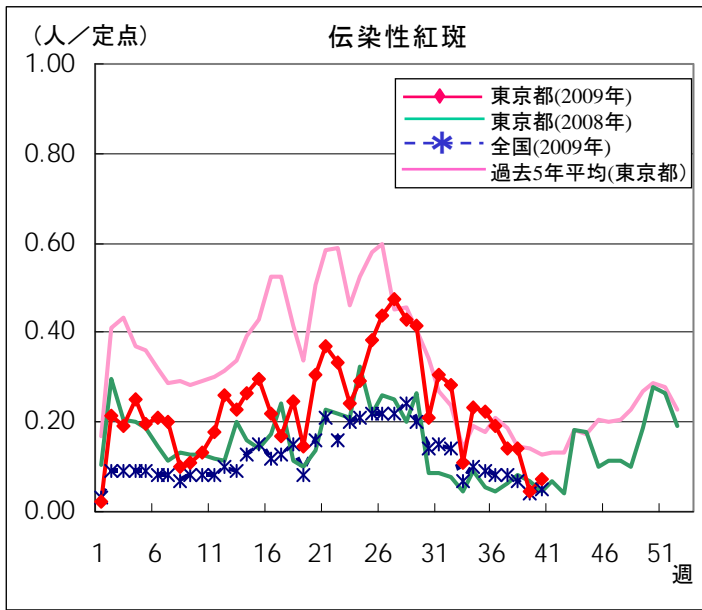
定点種別	小児科									
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ
千代田								0.33		
中央区				2.00	0.33			0.67		
みなと	0.50	0.17	0.17	2.50	0.17	0.50		0.50		0.50
新宿区			0.17	1.67	0.17			0.17		
文京				0.67				0.67		0.67
台東			0.33	2.00	0.67			0.33		
墨田区			0.67			2.67		0.67		
江東区			1.25	4.50	0.50	1.25		1.25		0.75
品川区	0.17	0.17	0.50	2.50		0.33		0.67		0.33
目黒区			0.33	0.67	0.33	0.33	0.33	0.33		
大田区			0.78	3.33	0.67	0.44	0.11	1.44	0.33	0.44
世田谷			0.25	2.63		0.38		0.25		
渋谷区				1.75				1.75	0.50	
中野区			0.33	3.83	0.50	0.17		0.67		0.83
杉並			0.83	4.17		0.17		0.67		
池袋				0.80		0.40				
北区			0.25	0.50	0.75	0.75		0.50		
荒川区			0.50		2.00			1.50		
板橋区			0.17	2.17		0.17		0.50		
練馬区	0.20		0.20	0.40	0.20	0.20		0.60		0.20
足立				3.40	0.60	0.60	0.20	0.80		
葛飾区			0.50	0.75	1.75	1.00		0.50		1.25
江戸川	0.20		1.60	2.60	0.20	0.60	0.60	1.00		0.80
八王子市	0.25		3.50	6.25	0.75	0.50	0.25	1.50		0.50
西多摩		0.20		1.80	0.60			0.20	0.20	0.20
南多摩	0.75		1.25	3.00	0.75	0.25				
町田			3.50	5.50	1.00	0.50	0.75	1.50		1.75
多摩立川				0.67	0.33			0.17		
多摩府中	0.20			0.20	0.40	0.20		0.60		
多摩小平	0.17	0.17	1.67	3.17	0.83	1.00	0.17	1.67	0.17	
島しょ										
東京都	0.09	0.03	0.58	2.19	0.40	0.39	0.07	0.70	0.05	0.26

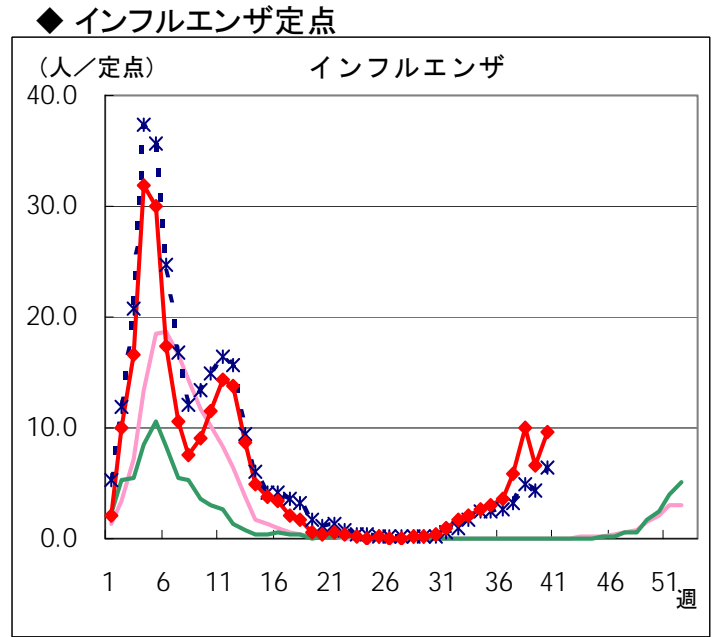
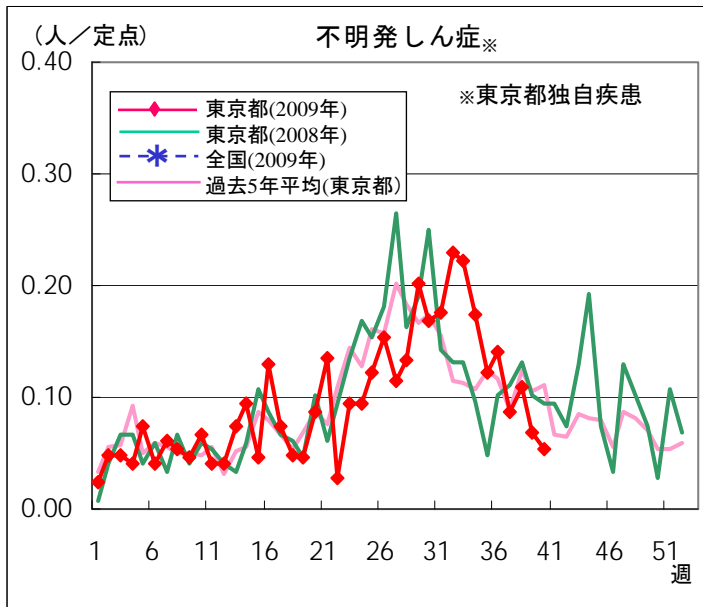
定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)	インフルエ ンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田				9.50		
中央区	0.33			8.50		
みなと	0.67			6.38		
新宿区	0.50	0.17		7.78		2.00
文京	0.33			12.20		1.00
台東				4.60		
墨田区		0.33		5.83		
江東区	0.25			11.22		
品川区	0.50	0.17		5.80		
目黒区				4.00		
大田区	0.33			10.00		
世田谷			0.13	11.63		
渋谷区	0.25			7.83		
中野区	0.67			10.44		
杉並	0.33			11.17		
池袋				7.25		
北区	0.75			9.88		1.00
荒川区				5.25		1.00
板橋区	1.17			4.67		
練馬区	0.40			7.58		1.00
足立	1.00	0.20		7.92	0.50	0.50
葛飾区	1.25	0.25		12.44	1.00	
江戸川	0.40			15.83		
八王子市	2.75			9.90		0.50
西多摩	1.80			8.00		1.00
南多摩				14.00		1.00
町田	5.00	0.50		16.67		
多摩立川				7.08		
多摩府中	1.10			9.71		
多摩小平	1.50	0.17		15.14		1.00
島しょ						
東京都	0.72	0.05	0.01	9.60	0.05	0.38

定点把握対象疾患 報告数【週別発生状況】 2009年40週現在

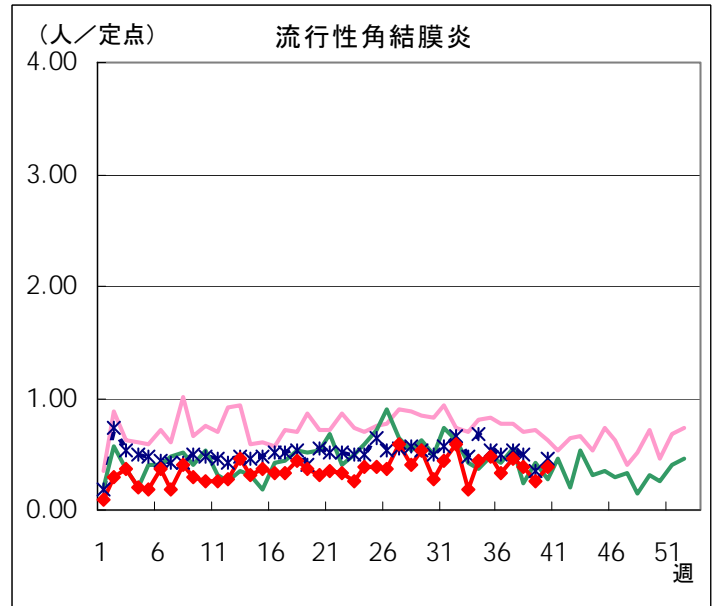
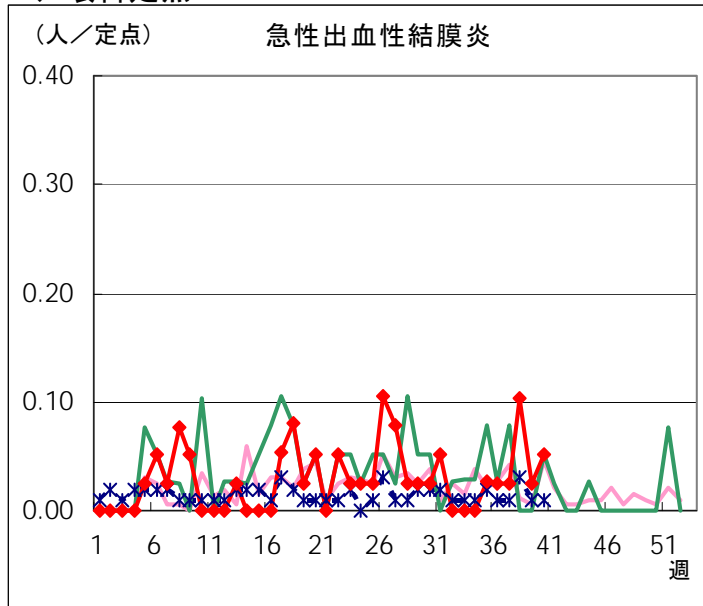
◆ 小児科定点



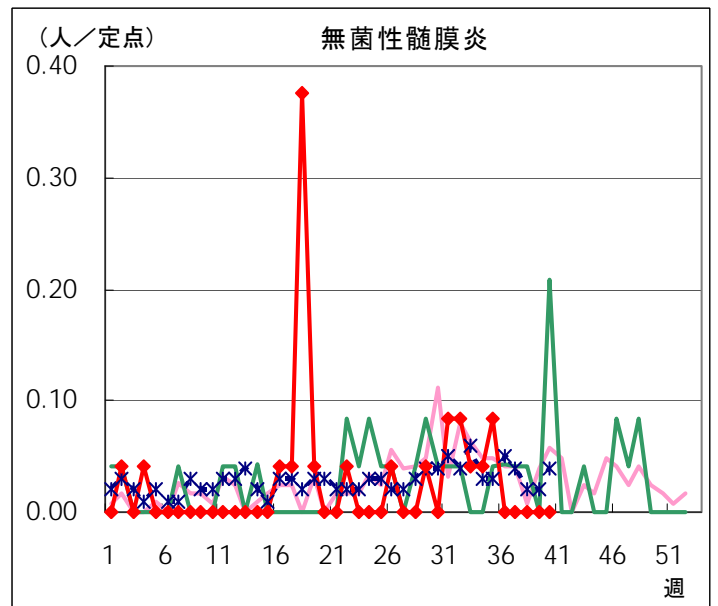
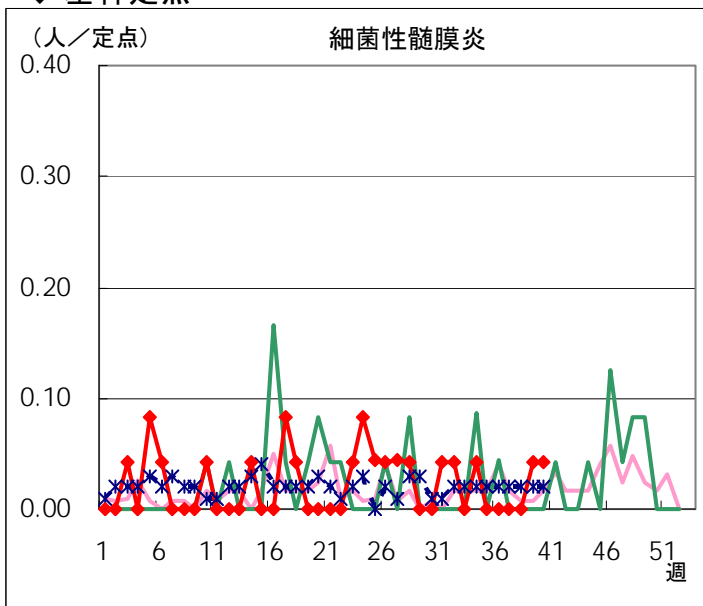


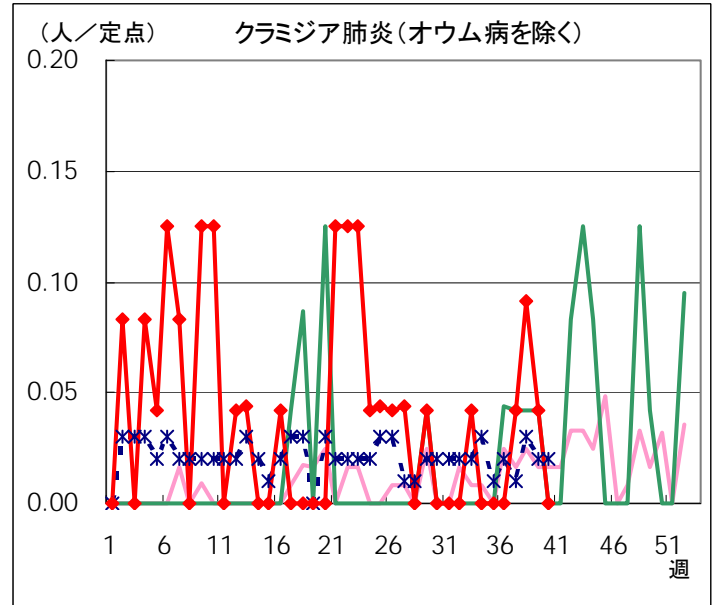
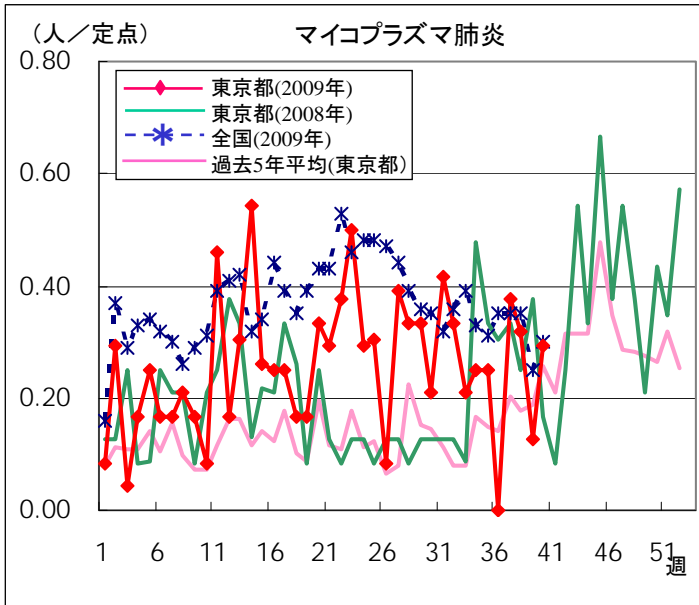


◆ 眼科定点

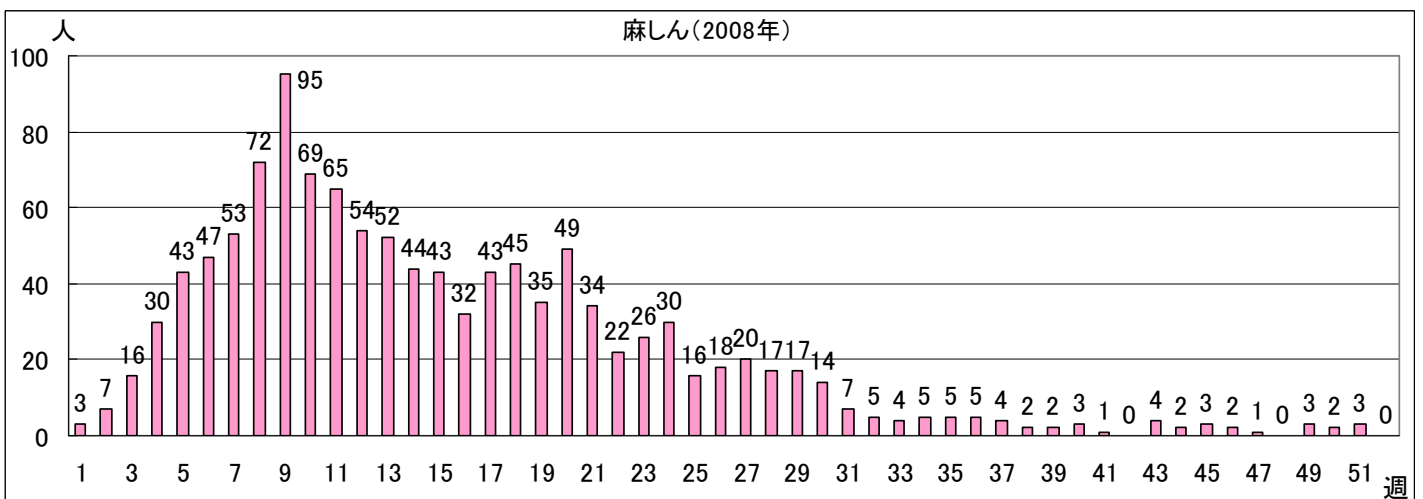
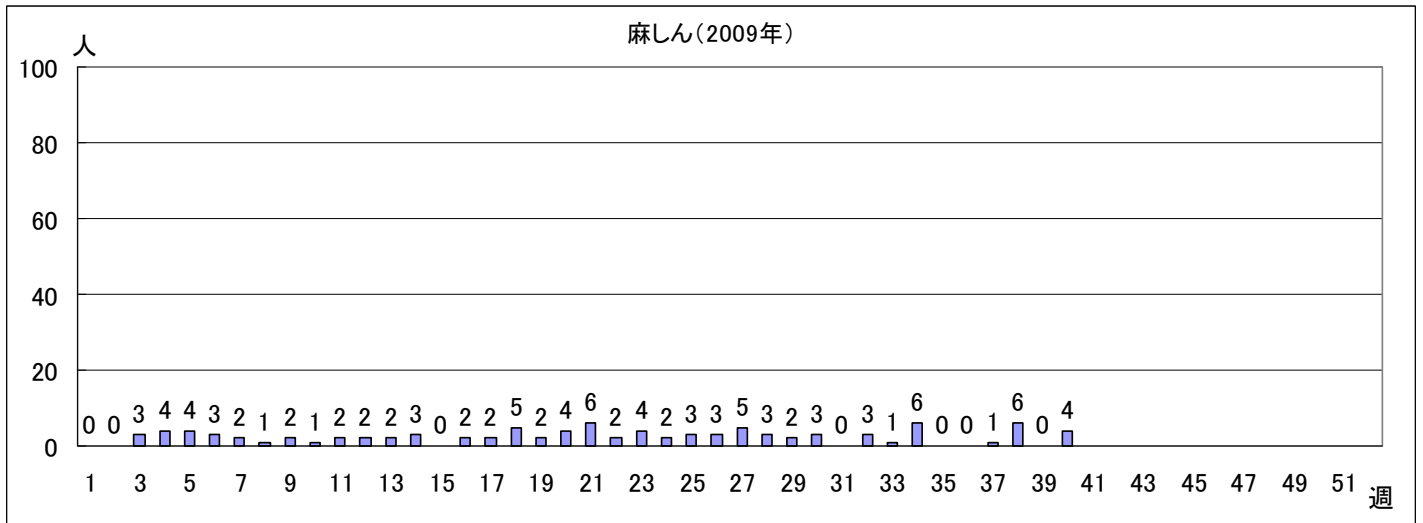


◆ 基幹定点





全数把握対象疾患 報告数【週別保健所受理状況】 2009年40週現在



定点医療機関からのインフルエンザに関するコメント

各定点医療機関から、迅速診断キットを用いた検査の結果等に関わるコメントをいただきましたので、コメントのあった医療機関ごとに下表にまとめました。

管轄保健所名	インフルエンザ 迅速診断結果		定点医療機関からのコメント
	A	B	
みなと	10		10ヶ月、3歳、6歳、11歳2名、10歳2名、12歳、13歳2名。
	3		症状から診断1名。
	16		
新宿区	2		
	5		
江東区	28		
	10		
目黒区	3		
	8		
大田区	2		
	4		
	12		
	6		
	15		
世田谷区			患者53名。週末より、幼稚園・保育園にて、インフルエンザが出始めました。
	8		
	1		
	9		患者13名。
	3		
	5		
中野区	7		臨床症状や状況からインフルエンザと考えられるもの1名。
	4		
	28		
	28		その他にA型・B型同時感染1名。
	2		
	3		
	6		
	9		
	3		型不明2人。
池袋	14		
	1		
北区	13		
			患者9名。相変わらずコンスタントに発生していますが、若干減少しています。
	4		
			患者27名。インフルエンザが急に増加しました。ただ、年齢が限定されています。(8～40歳)
	6		

管轄保健所名	インフルエンザ 迅速診断結果		定点医療機関からのコメント
	A	B	
板橋区	5		
西多摩	1		
	8		
南多摩	26		
多摩府中			患者10名。当地の小学校で流行中です。
多摩小平	16		
	2		
	17	1	陰性でもインフルエンザと診断1名。
	29		
			患者34名。10代が多い。
	10		
	15	1	
5			
八王子市	9		
	16		
	1		
	6		
	2		
	27		
	22		

病原体検査情報

◇定点(病原体)医療機関からの搬入検体

*原則として検体採取日の順に掲載しています。

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
1/7	手足口病	1	咽頭拭い液	アデノウイルス、エンテロウイルス	遺伝子
9/10	マイコプラズマ肺炎	2	咽頭拭い液	エンテロウイルス マイコプラズマ・ニューモニエ	
9/11	肺炎	1	咽頭拭い液	RSウイルス	
9/12	不明発しん症	2	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型、7型	
9/13	髄膜炎	14	髄液	エンテロウイルス	
9/14	不明発しん症	2	鼻汁	ライノウイルス、EBウイルス	
9/14	RSウイルス感染症	1	咽頭拭い液	アデノウイルス、ライノウイルス RSウイルス	
9/14	不明発しん症	1	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
9/15	不明発しん症	3	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型 EBウイルス	
9/15	喘息性気管支炎	1	咽頭拭い液	ライノウイルス	
9/15	マイコプラズマ肺炎	8	咽頭拭い液	マイコプラズマ・ニューモニエ	
9/15	急性上気道炎	1	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
9/15	急性気管支炎	2	咽頭拭い液	アデノウイルス	
9/16	ヘルパンギーナ	2	咽頭拭い液	エンテロウイルス、EBウイルス	
9/17	耳下腺腫脹	5	咽頭拭い液	ムンプスウイルス	
9/17	急性気管支炎	3M	鼻汁	ライノウイルス	
9/17	RSウイルス感染症	3	咽頭拭い液	RSウイルス	
9/17	RSウイルス感染症	1	咽頭拭い液	RSウイルス、エンテロウイルス	
9/17	RSウイルス感染症	7M	咽頭拭い液	RSウイルス	
9/18	RSウイルス感染症	9M	咽頭拭い液	アデノウイルス、RSウイルス	
9/24	不明発しん症	3	咽頭拭い液	ライノウイルス	
9/25	伝染性紅斑	3	咽頭拭い液	パルボウイルスB19	
9/25	流行性耳下腺炎	5	咽頭拭い液	EBウイルス	
9/25	インフルエンザ疑い	7	咽頭拭い液	エンテロウイルス	

◇定点医療機関から搬入された検体の遺伝子検査法による亜型

亜型検出件数	インフルエンザウイルス			
	AH1型	AH3型	B型	AH1pdm(新型)
39週	0	0	0	31
今シーズン累計**	1	0	0	119

* AH1pdm: 新型インフルエンザウイルス(ブタ由来インフルエンザウイルスA/HINI)

**新シーズン(2009-2010シーズン)の開始は36週。

病原体検査情報【検出病原体別・週別】

検出病原体		2009年							
		32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週
ウイルス	アデノウイルス	3	4	4	1	5	3		4
	ライノウイルス	1			2	3	8		5
	ポリオウイルス								
	コクサッキーウイルスA群						1		
	コクサッキーウイルスB群								
	エコーウイルス								
	エンテロウイルス71						2		
	その他のエンテロウイルス	6	2	11	10	7			8
	単純ヘルペスウイルス				1	1			
	水痘・帯状疱疹ウイルス								
	ヘルペスウイルス6/7	2	4	4	3				3
	EBウイルス		1	1		1	3		4
	サイトメガロウイルス	1	1	1			2		
	ムンプスウイルス	1	1	2					1
	麻疹ウイルス								
	風疹ウイルス								
	パルボウイルスB19	1							1
	RSウイルス		1				1		6
	ノロウイルス						2		
	ロタウイルス								
	インフルエンザウイルスAH1				1	1			
	インフルエンザウイルスAH3				2				
	インフルエンザウイルスB								
	新型インフルエンザウイルスAH1pdm	21	16	25	25	16	35	37	31
デングウイルス(抗体を含む)			1	1	2				
その他のウイルス									
細菌	カンピロバクター				2				
	サルモネラ								
	腸管出血性大腸菌								
	その他の腸管系病原菌								
	溶血性レンサ球菌	3				2	3		
	その他の細菌	3							
その他の病原体									2

病原体検査情報【検出病原体別・臨床診断名別】

2009年32週～2009年39週

臨床診断名 検出病原体	インフルエンザ	上気道炎	下気道炎	感染性胃腸炎	無菌性髄膜炎	咽頭結膜熱	A群溶連菌咽頭炎	流行性角結膜炎	ヘルパンギーナ	手足口病	伝染性紅斑	不明発しん症	流行性耳下腺炎	水痘	麻疹	風しん	その他	
搬入検体数	232	25	52	23	46	3	4	8	4	11	3	18	6		2	1	112	
ウイルス	アデノウイルス	2	1	6		1		6		3						1	3	
	ライノウイルス	3	1	4			1			1		3					5	
	ポリオウイルス			1													1	
	コクサッキーウイルスA群	1																
	コクサッキーウイルスB群																	
	エコーウイルス																	
	エンテロウイルス71			1					1									
	その他のエンテロウイルス	3	6	6		4			1	9		6						9
	単純ヘルペスウイルス																	2
	水痘・帯状疱疹ウイルス																	
	ヘルペスウイルス6/7		1	1						1		7						6
	EBウイルス		1						2			2	2					3
	サイトメガロウイルス									1		1					1	2
	ムンプスウイルス					2								3				
	麻疹ウイルス																	
	風しんウイルス																	
	パルボウイルスB19											1	1					
	RSウイルス			8														
	ノロウイルス																	2
	ロタウイルス																	
インフルエンザウイルスAH1	2																	
インフルエンザウイルスAH3	2																	
インフルエンザウイルスB																		
新型インフルエンザウイルスAH1pdm	201		5															
デングウイルス(抗体を含む)																	4	
その他のウイルス																		
細菌	カンピロバクター				2													
	サルモネラ																	
	腸管出血性大腸菌																	
	その他の腸管系病原菌																	
	溶血性レンサ球菌		5					3										
その他の細菌			1				1										1	
その他の病原体			2															